

## 平成18年度における大阪府域のダイオキシン類環境調査結果について

ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、平成18年度に大阪府域で各機関（近畿地方整備局を除く。）が実施したダイオキシン類の常時監視結果等の概要は以下のとおりです。なお、大阪市、堺市および高槻市の調査結果は既に公表されたものです。

### 概 要

#### （1）常時監視

- 平成18年度は、大気50地点、河川水質・底質各68地点、海域水質・底質各12地点、地下水質29地点および土壌37地点においてダイオキシン類の常時監視を行いました。
- 大気、海域水質・底質、地下水質、土壌では、調査した全ての地点で、河川水質では60地点で、河川底質では66地点で環境基準を達成していました。環境基準を超過した地点は、河川水質で8地点、河川底質で2地点でした。
- ダイオキシン類常時監視を開始した平成12年度からの調査結果の推移をみると、府域における大気中の濃度は低下傾向が見られました。河川水質・底質、海域水質・底質中の濃度は横ばい傾向でした。地下水質、土壌では、7年間に調査した全ての地点で環境基準を達成していました。
- 今後の対応として、環境基準を超過した地点については、監視の継続を行うとともに関係機関と連携して環境基準の達成に向けた取り組みを行っていきます。

#### （2）追跡調査等

- 平成18年度は、これまでの追跡調査において高濃度の底質が存在することが判明した神崎川水域・番田水路上流の三箇牧水路において追跡調査を実施しました。  
当該水路において底質の汚染状況を詳細に調査した結果16箇所中13箇所で底質の環境基準値を超過していました。
- 大阪府では、この調査結果を踏まえ、高濃度区間について、平成18年度中に底質除去工事を実施しました。  
今後は、対策効果の確認のため水質および底質のモニタリングを行うとともに汚染の再発防止のため周辺事業所の監視指導を実施します。
- また、過去に環境基準を超過した常時監視地点9地点で、平成18年度に季節変動調査を行いました。  
その結果、各季節の変動が比較的大きく、春季に高濃度であった地点については、引き続き季節変動調査を継続します。

## 1 常時監視調査結果

平成 18 年度のダイオキシン類常時監視結果および常時監視を開始した平成 12 年度からの調査結果の推移は次のとおりである。[表 1、表 2]

### (1) 大気 [環境基準 年間平均値 0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下] [図 1、図 8、表 3]

平成 18 年度の大気中のダイオキシン類は 50 地点で調査を実施し、年間平均値で見ると、濃度範囲は 0.016~0.19pg-TEQ/m<sup>3</sup>、平均値は 0.068pg-TEQ/m<sup>3</sup>であり、各地点とも環境基準を達成していた。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度 0.30 pg-TEQ/m<sup>3</sup>、平成 13 年度 0.19 pg-TEQ/m<sup>3</sup>、平成 14 年度 0.18 pg-TEQ/m<sup>3</sup>、平成 15 年度 0.092 pg-TEQ/m<sup>3</sup>、平成 16 年度 0.087 pg-TEQ/m<sup>3</sup>、平成 17 年度 0.059 pg-TEQ/m<sup>3</sup> となっており、府域のダイオキシン類濃度には低下傾向が見られた。

環境基準超過地点は、平成 12 年度 1 地点、平成 13 年度 2 地点、平成 14 年度 1 地点であったが、平成 15 年度以降、調査全地点で環境基準を達成していた。

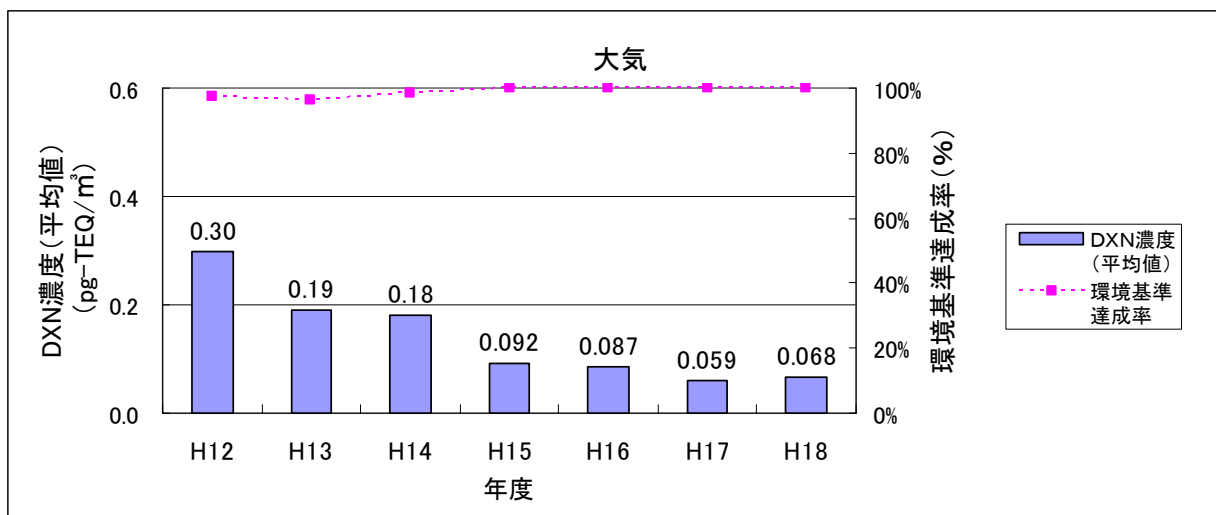


図 1 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (大気)

### (2) 公共用水域水質 [環境基準 年間平均値 1pg-TEQ/L 以下]

#### ①河川水質 [図 2、図 9、表 4]

平成 18 年度の河川水質のダイオキシン類は 68 地点で調査を実施し、年間平均値で見ると、濃度範囲は 0.054~3.2 pg-TEQ/L、平均値は 0.54pg-TEQ/L であった。60 地点で環境基準を達成しており、神崎川新三国橋、恩智川福栄橋下流 100m など 8 地点で環境基準を超過していた (近畿地方整備局実施分は未公表のため除く。図 2、図 9、表 4 についても同じ。)

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平均値は、平成 12 年度 0.55 pg-TEQ/L、平成 13 年度 0.45 pg-TEQ/L、平成 14 年度 0.55 pg-TEQ/L、平成 15 年度 0.55 pg-TEQ/L、平成 16 年度 0.49 pg-TEQ/L、平成 17 年度 0.47 pg-TEQ/L であり、ほぼ横ばい状態であった。

環境基準超過地点は、平成 12 年度 9 地点、平成 13 年度 9 地点、平成 14 年度 8 地点、平成 15 年度 9 地点、平成 16 年度 9 地点、平成 17 年度 8 地点であった (ただし、近畿地方整備局実施分を含む。)

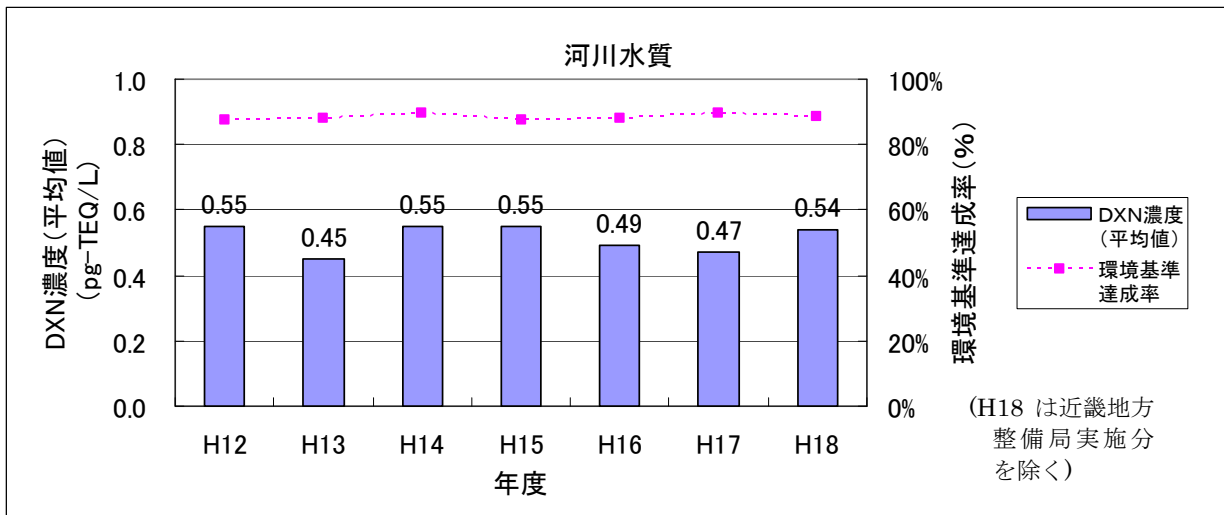


図2 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (河川水質)

②海域水質 [図3、図9、表5]

平成18年度の海域水質のダイオキシン類は12地点で調査を実施し、年間平均値で見ると、濃度範囲は0.028~0.48 pg-TEQ/L、平均値は0.13 pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を達成していた。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平均値は、平成12年度0.22 pg-TEQ/L、平成13年度0.13 pg-TEQ/L、平成14年度0.17 pg-TEQ/L、平成15年度0.13 pg-TEQ/L、平成16年度0.13 pg-TEQ/L、平成17年度0.15 pg-TEQ/Lであり、平均値はほぼ横ばいであった。なお、平成12年度調査から全ての地点で環境基準を達成していた。

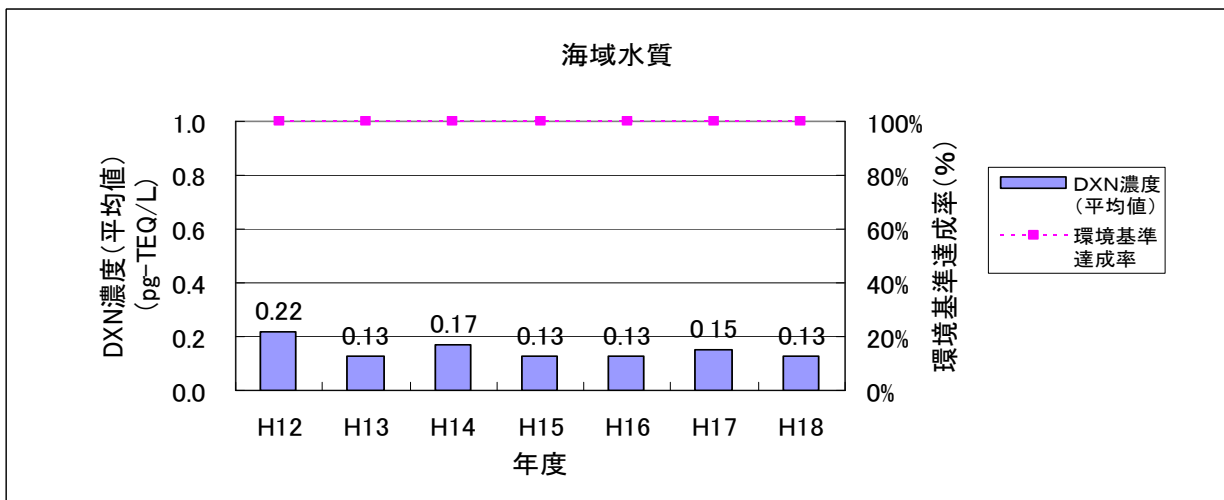


図3 ダイオキシン類常時監視結果の推移 (海域水質)

(3) 公共用水域底質 [環境基準 150pg-TEQ/g 以下]

①河川底質 [図4、図9、表4]

平成18年度の河川底質のダイオキシン類は68地点で調査を実施し、濃度範囲は0.23~300 pg-TEQ/g、平均値は29pg-TEQ/gであった。66地点で環境基準を達成しており、神崎川新三国橋など2地点で環境基準を超過していた(近畿地方整備局実施分は未公表のため除く。図4、図9、表4についても同じ。)

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成 12 年度 45 pg-TEQ/g、平成 13 年度 38 pg-TEQ/g、平成 14 年度 44 pg-TEQ/g、平成 15 年度 38 pg-TEQ/g、平成 16 年度 34 pg-TEQ/g、平成 17 年度 33 pg-TEQ/g であった。なお、底質の環境基準は平成 14 年 9 月から適用されているが、環境基準超過地点は、平成 14 年度 12 地点、平成 15 年度 6 地点、平成 16 年度 2 地点、平成 17 年度 4 地点であった（ただし、近畿地方整備局実施分を含む。）。

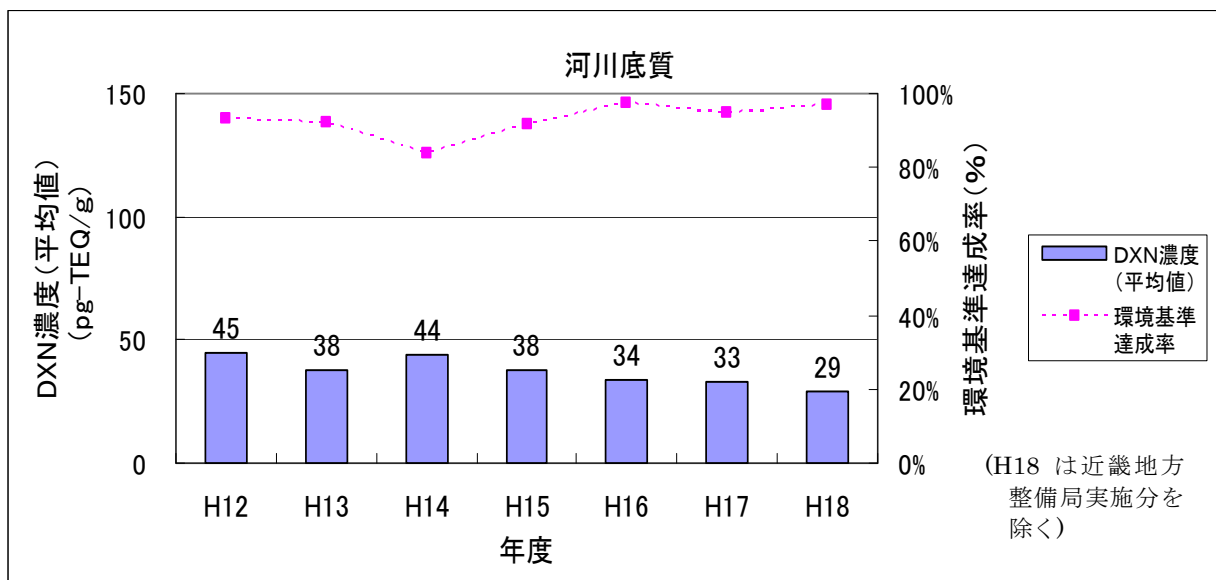


図4 ダイオキシン類常時監視結果の推移（河川底質）

②海域底質 [図5、図9、表5]

平成 18 年度の海域底質のダイオキシン類は 12 地点で調査を実施し、濃度範囲は 1.2～84 pg-TEQ/g、平均値は 25 pg-TEQ/g であり、各地点とも環境基準を達成していた。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平均値は、平成 12 年度 33 pg-TEQ/g、平成 13 年度 40 pg-TEQ/g、平成 14 年度 52 pg-TEQ/g、平成 15 年度 31 pg-TEQ/g、平成 16 年度 34 pg-TEQ/g、平成 17 年度 32 pg-TEQ/g であった。なお、底質の環境基準は平成 14 年 9 月から適用されているが、環境基準超過地点は、平成 14 年度 2 地点、平成 15 年度 1 地点で平成 16 年度以降 0 地点であった。

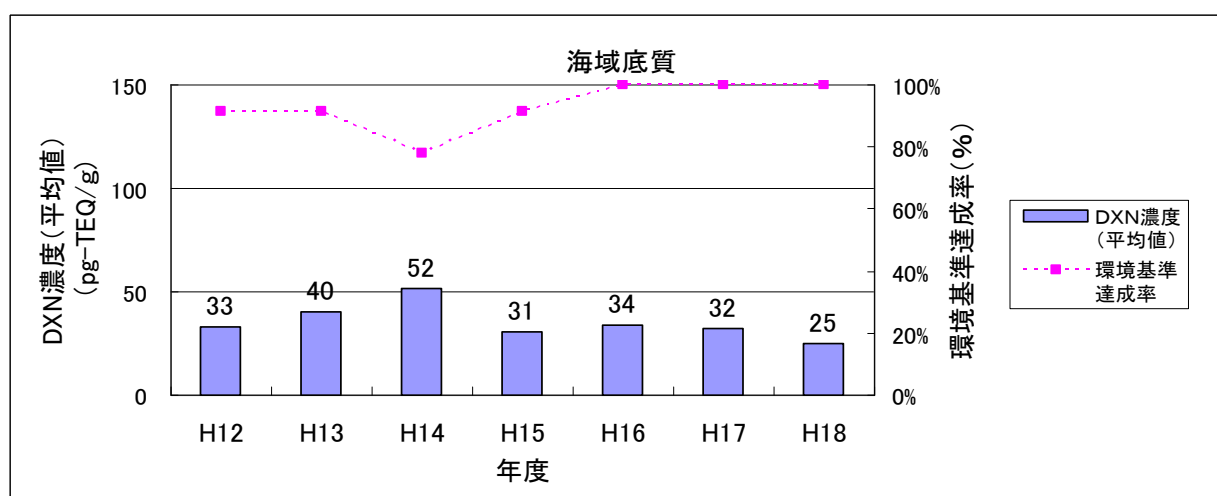


図5 ダイオキシン類常時監視結果の推移（海域底質）

(4) 地下水質〔環境基準 年間平均値 1pg-TEQ/L 以下〕〔図6、表6、図10〕

平成18年度の地下水質のダイオキシン類は29地点で調査を実施し、濃度範囲は0.024～0.48 pg-TEQ/L、平均値は0.10 pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を達成していた。

また、地下水質は毎年地点を変えて調査を行っており、平成12～17年度においては、計255地点で調査を行ったが、調査した全ての地点で環境基準を達成していた。なお、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、ほぼ同程度の濃度で推移していた。

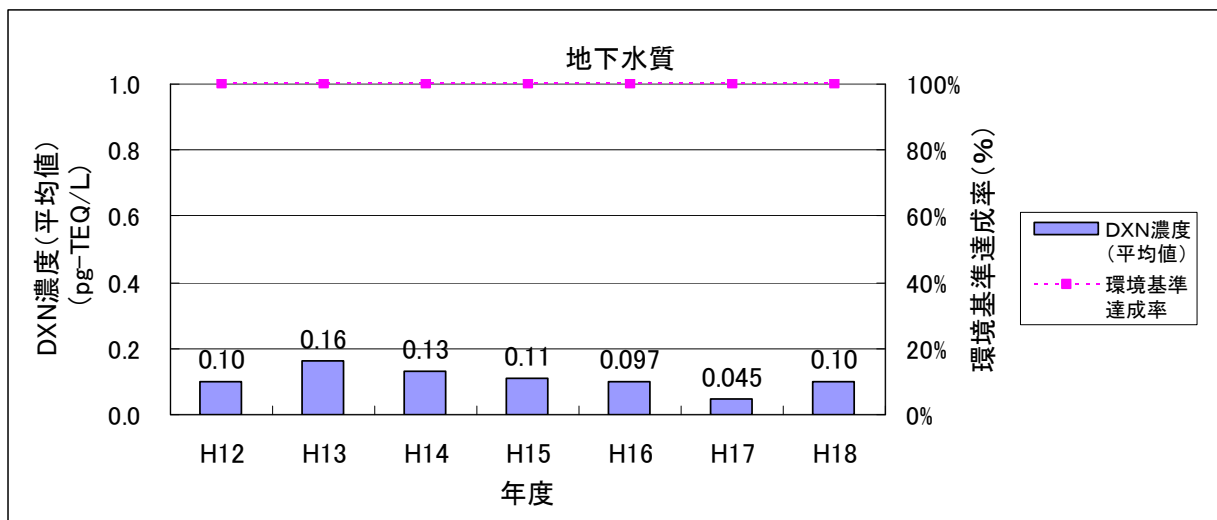


図6 ダイオキシン類常時監視結果の推移（地下水質）

(5) 土壌〔環境基準 1,000pg-TEQ/g〕〔図7、図11、表7〕

平成18年度の土壌一般環境把握調査は37地点で調査を実施し、濃度範囲は0.031～16pg-TEQ/g、平均値は2.9pg-TEQ/gであり、各地点とも環境基準を達成していた。

また、土壌は毎年地点を変えて調査を行っており、平成12～17年度においては、計554地点で調査を行ったが、調査した全ての地点で環境基準を達成していた。なお、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、ほぼ同程度の濃度で推移していた。

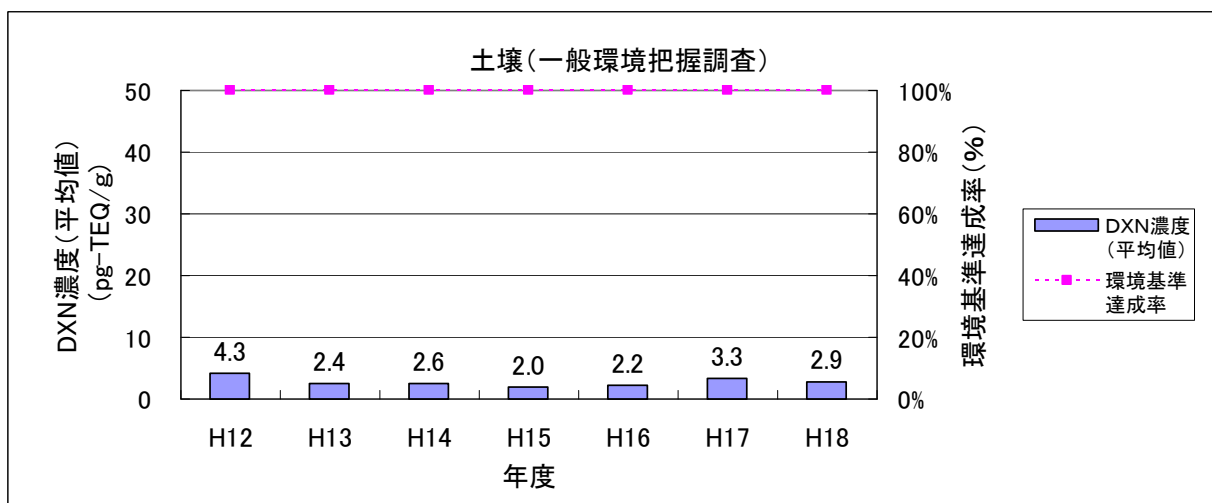


図7 ダイオキシン類常時監視結果の推移（土壌 一般環境把握調査）

(6) 今後の対応

水質環境基準を超過した地点については、これまでの調査結果を踏まえ、関係機関と連携して原因究明調査を行うとともに、流域の事業所を調査・指導するなどの措置を講じる。

底質環境基準を超過した地点については、関係機関と連携して、学識経験者で構成する「河川及び港湾の底質浄化対策検討委員会」の意見を聞くなどして、調査および対策に取り組む。

表1 平成18年度ダイオキシン類常時監視結果一覧

調査項目 (単位)	調査地点数	環境基準超過地点数	濃度範囲	平均値	環境基準値
大気 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )	50 地点	0 地点	0.016 ~ 0.19	0.068	0.6
公共用水域水質 (pg-TEQ/L)					
河川※	68 地点	8 地点	0.054 ~ 3.2	0.54	1
海域	12 地点	0 地点	0.028 ~ 0.48	0.13	
公共用水域底質 (pg-TEQ/g)					
河川※	68 地点	2 地点	0.23 ~ 300	29	150
海域	12 地点	0 地点	1.2 ~ 84	25	
地下水質 (pg-TEQ/L)	29 地点	0 地点	0.024 ~ 0.48	0.10	1
土壌 (pg-TEQ/g)					
一般環境把握調査	37 地点	0 地点	0.031 ~ 16	2.9	1,000

※公共用水域における調査結果は、近畿地方整備局実施分を除く。

表2 ダイオキシン類年度別常時監視結果一覧

調査項目		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
大気	平均値	0.30	0.19	0.18	0.092	0.087	0.059	0.068	
	濃度範囲	0.073 ~0.64	0.036 ~1.7	0.030 ~0.84	0.029 ~0.35	0.029 ~0.28	0.016 ~0.15	0.016 ~0.19	
	調査地点数	40	58	58	59	56	54	50	
	環境基準超過地点数	1	2	1	0	0	0	0	
	環境基準達成地点数	39	56	57	59	56	54	50	
	環境基準達成率(%)	97.5	96.6	98.3	100	100	100	100	
公共用水域 水質	河川	平均値	0.55	0.45	0.55	0.55	0.49	0.47	0.54
		濃度範囲	0.051 ~2.9	0.064 ~3.9	0.069 ~2.7	0.059 ~7.0	0.041 ~2.4	0.028 ~4.1	0.054 ~3.2
		調査地点数	73	76	76	72	74	77	68
		環境基準超過地点数	9	9	8	9	9	8	8
		環境基準達成地点数	64	67	68	63	65	69	60
		環境基準達成率(%)	87.7	88.2	89.5	87.5	87.8	89.6	88.2
	海域	平均値	0.22	0.13	0.17	0.13	0.13	0.15	0.13
		濃度範囲	0.041 ~1.0	0.043 ~0.44	0.069 ~0.60	0.020 ~0.35	0.030 ~0.63	0.042 ~1.0	0.028 ~0.48
		調査地点数	12	12	12	12	12	12	12
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	12	12	12	12	12	12	12
		環境基準達成率(%)	100	100	100	100	100	100	100
公共用水域 底質	河川	平均値	45	38	44	38	34	33	29
		濃度範囲	0.18 ~510	0.11 ~320	0.17 ~370	0.16 ~370	0.12 ~540	0.22 ~510	0.23 ~300
		調査地点数	72	78	73	70	74	77	68
		環境基準超過地点数	(5)	(6)	12	6	2	4	2
		環境基準達成地点数	(67)	(72)	61	64	72	73	66
		環境基準達成率(%)	93.1	92.3	83.6	91.4	97.3	94.8	97.1
	海域	平均値	33	40	52	31	34	32	25
		濃度範囲	3.3 ~160	3.2 ~190	1.5 ~190	0.67 ~170	1.7 ~150	1.2 ~100	1.2 ~84
		調査地点数	12	12	9	12	12	12	12
		環境基準超過地点数	(1)	(1)	2	1	0	0	0
		環境基準達成地点数	(11)	(11)	7	11	12	12	12
		環境基準達成率(%)	91.7	91.7	77.8	91.7	100	100	100
地下水質	平均値	0.10	0.16	0.13	0.11	0.097	0.045	0.10	
	濃度範囲	0.00081 ~0.48	0.016 ~0.91	0.022 ~0.81	0.018 ~0.47	0.010 ~0.73	0.011 ~0.14	0.024 ~0.48	
	調査地点数	41	47	47	45	44	31	29	
	環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	
	環境基準達成地点数	41	47	47	45	44	31	29	
	環境基準達成率(%)	100	100	100	100	100	100	100	
土壌	一般環境	平均値	4.3	2.4	2.6	2.0	2.2	3.3	2.9
		濃度範囲	0.0023 ~56	0.0012 ~30	0.00096 ~26	0.00019 ~30	0.00012 ~42	0.0028 ~70	0.031 ~16
		調査地点数	109	118	87	98	94	48	37
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	109	118	87	98	94	48	37
		環境基準達成率(%)	100	100	100	100	100	100	100
	発生源周辺	平均値	38	10	4.5	7.1	1.8	-	-
		濃度範囲	9.8 ~92	0.11 ~50	0.0039 ~35	0.073 ~53	0.0036 ~5.0	-	-
		調査地点数	3	31	31	16	10	-	-
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	-	-
		環境基準達成地点数	3	31	31	16	10	-	-
		環境基準達成率(%)	100	100	100	100	100	-	-

- (注)
- ・底質の環境基準は平成14年9月から適用。平成12、13年度の底質における環境基準超過地点数、達成地点数及び達成率は参考値である。
  - ・平成18年度の河川水質、河川底質における調査結果は近畿地方整備局実施分を除く。
  - ・平均値及び濃度範囲の単位は、大気pg-TEQ/m<sup>3</sup>、水質pg-TEQ/L、底質・土壌pg-TEQ/gである。
  - ・土壌(発生源周辺)については、平成16年度で調査が完了したため平成17年度以降については実施していない。

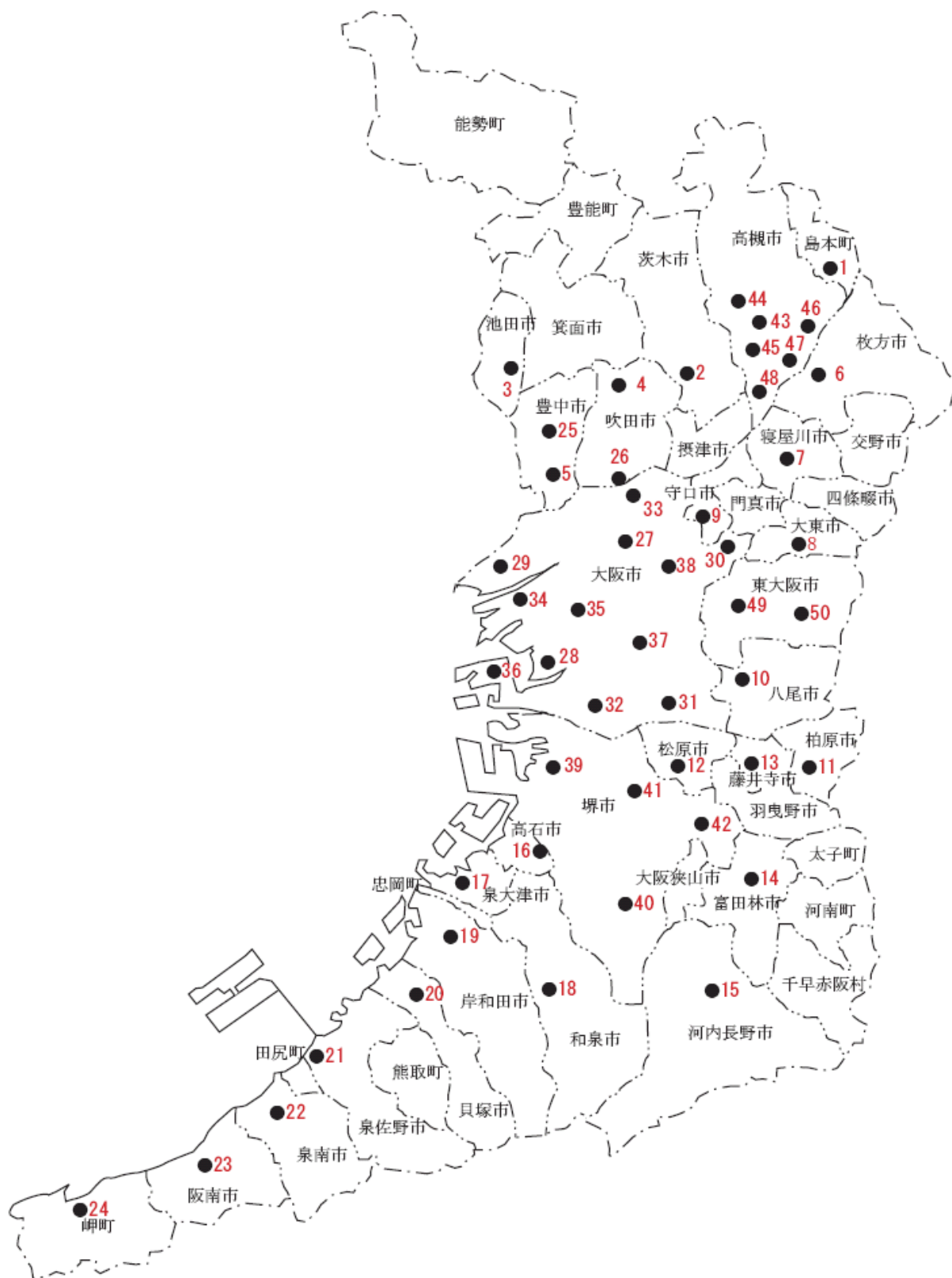


図8 平成18年度大気常時監視地点図



表3 平成18年度ダイオキシン類常時監視結果（大気：環境基準 年間平均値 0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下）

調査主体	市町村名	測定地点	測定値(pg-TEQ/m <sup>3</sup> )					年平均	図8 地点番号
			春	夏	秋	冬			
大阪府	島本町	島本町役場局	0.032	0.036	0.020	0.034	0.031	1	
	茨木市	茨木市役所局	0.043	0.039	0.020	※2 0.053	0.039	2	
	池田市	池田市立南畑会館局	0.015	0.021	0.012	0.015	0.016	3	
	吹田市	吹田市北消防署局	0.031	0.026	0.016	0.018	0.023	4	
	豊中市	野田局	0.052	0.061	0.028	0.037	0.045	5	
	枚方市	枚方市役所局	0.053	0.058	0.039	0.062	0.053	6	
	寝屋川市	寝屋川市役所局	0.058	0.066	0.047	0.058	0.057	7	
	大東市	大東市役所局	0.058	0.068	0.037	0.066	0.057	8	
	守口市	守口保健所局	0.052	0.097	0.046	0.057	0.063	9	
	八尾市	八尾保健所局	0.079	0.14	0.043	※2 0.089	0.088	10	
	柏原市	府立修徳学院局	0.050	0.12	0.070	0.088	0.082	11	
	松原市	松原市役所	0.066	0.24	0.082	0.089	0.12	12	
	藤井寺市	藤井寺市役所局	0.056	0.20	0.060	0.076	0.098	13	
	富田林市	富田林市役所局	0.042	0.091	0.045	0.11	0.072	14	
	河内長野市	三日市公民館局	0.023	0.042	※1 0.029	※1 0.037	0.033	15	
	高石市	高石中学校局	0.069	0.096	0.061	0.078	0.076	16	
	泉大津市	泉大津市役所局	0.067	0.10	0.056	0.097	0.080	17	
	和泉市	緑ヶ丘小学校局	0.026	0.047	0.030	0.044	0.037	18	
	岸和田市	岸和田中央公園局	0.051	0.064	0.058	0.087	0.065	19	
	貝塚市	貝塚市消防署局	0.049	0.042	0.068	0.087	0.062	20	
	泉佐野市	佐野中学校局	0.025	0.038	0.056	0.066	0.046	21	
	泉南市	泉南市役所局	0.037	0.024	0.052	0.050	0.041	22	
	阪南市	南海団地局	0.015	0.018	0.032	0.039	0.026	23	
	岬町	岬町役場	0.018	0.022	0.028	0.040	0.027	24	
豊中市	豊中市	豊中市役所局	0.032	0.047	0.021	0.024	0.031	25	
吹田市	吹田市	吹田簡易裁判所局	0.065	0.086	0.032	0.034	0.054	26	
大阪市	大阪市	菅北小学校	0.054	0.092	0.056	0.050	0.063	27	
		平尾小学校	0.19	0.23	0.12	0.13	0.17	28	
		淀中学校	0.20	0.17	0.098	0.12	0.15	29	
		茨田北小学校	0.061	0.095	0.069	0.071	0.074	30	
		摂陽中学校	0.14	0.31	0.097	0.087	0.16	31	
		住吉区民ホール	0.16	0.36	0.059	0.076	0.16	32	
		東淀川区役所	0.056	0.087	0.046	0.051	0.060	33	
		此花区役所	0.060	0.054	0.076	0.077	0.067	34	
		堀江小学校	0.082	0.053	0.054	0.045	0.059	35	
		南港中央公園	0.062	0.032	0.050	0.12	0.066	36	
		勝山中学校	0.12	0.22	0.096	0.072	0.13	37	
聖賢小学校	0.081	0.12	0.075	0.072	0.087	38			
堺市	堺市	少林寺局	0.052	0.082	0.050	0.040	0.056	39	
		若松台局	0.018	0.033	0.029	0.037	0.029	40	
		金岡局	0.036	0.085	0.041	0.041	0.051	41	
		美原区役所	0.030	0.065	0.049	0.041	0.046	42	
高槻市	高槻市	高槻市役所局	0.035	0.042	0.026	0.051	0.039	43	
		高槻北局	0.026	0.033	0.066	0.085	0.053	44	
		高槻南局	0.035	0.046	0.56	0.12	0.19	45	
		前島公民館	0.049	0.057	0.046	0.062	0.054	46	
		南大冠公民館	0.047	0.054	0.045	0.070	0.054	47	
三島江公民館	0.045	0.040	0.035	0.035	0.039	48			
東大阪市	東大阪市	東大阪市環境衛生検査センター局	0.066	0.13	0.064	0.068	0.082	49	
		東大阪市旭町庁舎局	0.028	0.099	0.047	0.076	0.063	50	
平均値			0.058	0.090	0.061	0.065	0.068		

[ 試料採取日 ] 春季 平成18年5月25日～6月1日

夏季 平成18年7月20日～7月27日

秋季 平成18年10月19日～10月26日

冬季 平成19年1月18日～1月25日

※1 三日市公民館局の秋季、冬季は工事の為、代替地点の花の文化園で測定。

※2 冬季の茨木市役所局、八尾保健所局はHV異常停止の為、1月23日～1月30日に再度測定を実施した。

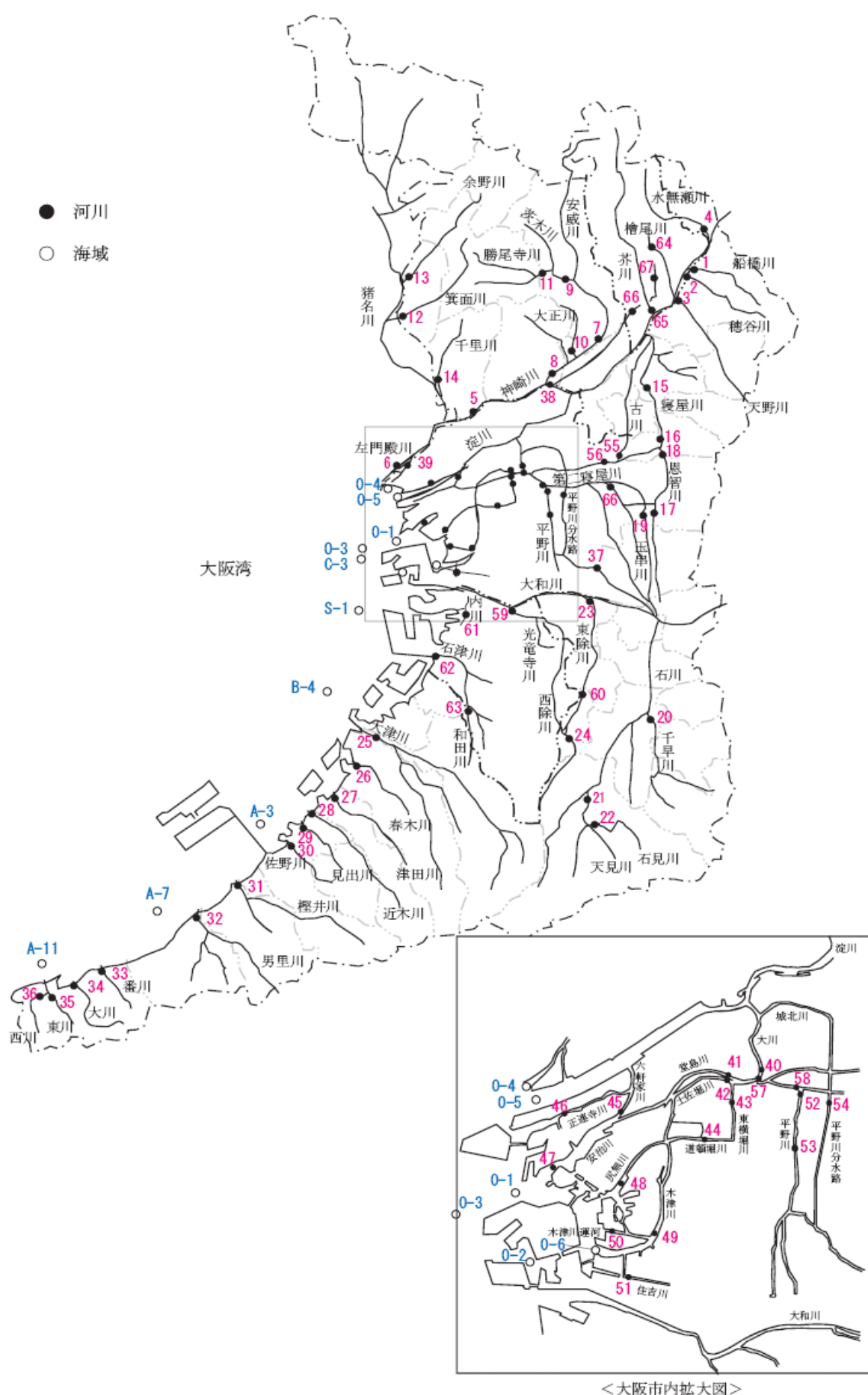


図9 平成18年度河川・海域常時監視地点図

表4 平成18年度ダイオキシン類常時監視結果(河川水質・底質)  
(環境基準:水質 年間平均値 1pg-TEQ/L以下、底質 150pg-TEQ/g以下)

調査主体	水域名	河川名	調査地点	水質測定回数(回/年)	水質測定値(pg-TEQ/L)			底質測定回数(回/年)	底質測定値(pg-TEQ/g)	図9地点番号	
							年平均				
大阪府	淀川	船橋川	新登橋上流	2	0.43	0.17	0.30	1	0.63	● 1	
		穂谷川	淀川合流直前	2	0.69	1.0	0.85	1	0.67	● 2	
		天野川	淀川合流直前	2	0.99	0.25	0.62	1	0.73	● 3	
		水無瀬川	名神高速道路高架橋下	2	0.093	0.077	0.085	1	0.63	● 4	
	神崎川	神崎川	新三国橋	2	4.5	1.9	* 3.2	1	* 300	● 5	
		左門殿川	辰巳橋	2	0.62	0.58	0.60	1	50	● 6	
		安威川	宮島橋	2	0.41	0.13	0.27	1	7.1	● 7	
		安威川	新京阪橋	2	1.6	0.96	* 1.3	1	1.8	● 8	
		茨木川	安威川合流直前	2	0.75	0.12	0.44	1	0.59	● 9	
		大正川	安威川合流直前	2	0.39	0.10	0.24	1	0.45	● 10	
		勝尾寺川	中河原橋	2	0.084	0.095	0.090	1	2.0	● 11	
		箕面川	府県境	2	0.070	0.26	0.17	1	0.50	● 12	
		余野川	猪名川合流直前	2	0.089	0.15	0.12	1	0.51	● 13	
		千里川	猪名川合流直前	2	0.48	0.16	0.32	1	0.37	● 14	
		寝屋川	寝屋川	萱島橋	2	0.73	0.29	0.51	1	2.9	● 15
	寝屋川		住道大橋	2	1.7	0.55	* 1.1	1	7.2	● 16	
	恩智川		福栄橋下流100m	2	1.7	1.5	* 1.6	1	1.4	● 17	
	恩智川		住道新橋	2	1.2	0.48	0.84	1	60	● 18	
	玉串川		JAグリーン大阪前	2	1.7	0.84	* 1.3	1	1.3	● 19	
	大和川	千早川	石川合流直前	2	0.044	0.12	0.082	1	0.23	● 20	
		天見川	新喜多橋	2	0.11	0.11	0.11	1	0.34	● 21	
		石見川	新高野橋	2	0.15	0.10	0.13	1	0.29	● 22	
		東除川	明治小橋	2	0.71	0.39	0.55	1	0.90	● 23	
		西除川	狭山池合流直前	2	0.26	0.56	0.41	1	0.81	● 24	
		泉州諸河川	大津川	大津川橋	2	0.89	0.72	0.81	1	0.50	● 25
	春木川		春木橋	2	0.83	0.69	0.76	1	0.54	● 26	
	津田川		昭代橋	2	0.90	1.4	* 1.2	1	1.1	● 27	
	近木川		近木川橋	2	0.24	0.96	0.60	1	0.65	● 28	
	見出川		見出橋	2	0.52	0.79	0.66	1	1.5	● 29	
	佐野川		昭平橋	2	0.82	0.59	0.71	1	0.93	● 30	
	樫井川		樫井川橋	2	0.30	0.89	0.60	1	3.3	● 31	
	男里川		男里川橋	2	0.12	0.12	0.12	1	0.56	● 32	
	番川		田身輪橋	2	0.10	0.065	0.083	1	1.5	● 33	
	大川		昭南橋	2	0.14	0.090	0.12	1	2.4	● 34	
	東川		一軒屋橋	2	0.36	0.13	0.25	1	14	● 35	
	西川		こや橋	2	0.20	0.066	0.13	1	4.0	● 36	
八尾市	寝屋川		平野川	東竹洲橋	2	1.1	0.32	0.71	2	0.84   1.3	● 37
大阪市	神崎川		神崎川	小松橋(江口橋)※	4	1.1~4.6		* 2.7	1	0.66	● 38
		神崎川	千船橋	2	0.29~0.45		0.37	1	61	● 39	
	大阪市内河川	大川	桜宮橋	1	0.45		0.45	1	17	● 40	
		堂島川	天神橋(右)	2	0.49~0.66		0.58	1	3.3	● 41	
		土佐堀川	天神橋(左)	2	0.38~0.51		0.45	1	1.1	● 42	
		東横堀川	本町橋	2	0.50~1.0		0.75	1	7.0	● 43	
		道頓堀川	大黒橋	4	0.54~1.1		0.82	1	120	● 44	
		六軒家川	春日出橋	2	0.17~0.18		0.18	1	* 180	● 45	
		正蓮寺川	北港大橋下流700m	1	0.080		0.080	1	72	● 46	
		安治川	天保山渡	1	0.097		0.097	1	51	● 47	
		尻無川	甚兵衛渡	1	0.39		0.39	1	110	● 48	
		木津川	千本松渡	1	0.27		0.27	1	130	● 49	
		木津川運河	船町渡	1	0.34		0.34	1	120	● 50	
		住吉川	住之江大橋下流1100m	2	0.12~0.25		0.19	1	140	● 51	
		寝屋川	平野川	城見橋	2	0.32~1.3		0.81	1	97	● 52
	平野川		南弁天橋	1	0.93		0.93	1	53	● 53	
	平野川分水路		天王田大橋(左専道大橋)※	1	0.41		0.41	1	26	● 54	
	古川		徳栄橋(中茶屋橋)※	4	0.69~1.6		* 1.3	1	150	● 55	
	寝屋川		今津橋	4	0.73~1.1		0.87	1	7.5	● 56	
	寝屋川		京橋(寝屋川橋)※	2	0.67~0.93		0.80	1	28	● 57	
堺市	大和川	西除川	大和川合流直前	1	0.054		0.054	1	0.96	● 59	
		東除川	新大阪橋	1	0.11		0.11	1	0.48	● 60	
	泉州諸河川	内川	堅川橋	1	0.14		0.14	1	93	● 61	
		石津川	石津川橋	1	0.081		0.081	1	8.7	● 62	
		和田川	小野々橋	1	0.18		0.18	1	3.6	● 63	
		高槻市	淀川	檜尾川	磐手社神社	2	0.11	0.10	0.11	1	0.47
神崎川	芥川	鷺打橋	2	0.18	0.092	0.14	1	0.44	● 65		
	番田井路	玉川橋	2	0.20	0.21	0.21	1	1.8	● 66		
	東部排水路	新今掘橋近傍	2	0.37	0.62	0.50	1	26	● 67		
東大阪市	寝屋川	第二寝屋川	新金吾郎橋	2	0.20	0.099	0.15	1	2.0	● 68	
		平均値				0.54		29			

※の( )内は、調査予定地点で底質が採取できなかったため、予定地点の周辺で実際に底質を採取した地点を示している。

\*は環境基準超過

表5 平成18年度ダイオキシン類常時監視結果（海域水質・底質）  
（環境基準：水質 年間平均値 1pg-TEQ/L 以下、底質 150pg-TEQ/g 以下）

調査主体	水域名	測定地点	測定地点の位置	水質測定回数(回/年)	水質測定値(年平均)(pg-TEQ/L)	底質測定回数(回/年)	底質測定値(pg-TEQ/g)	図9 地点番号
大阪府	大阪湾(1)	C-3	北緯34°37'58" 東経135°23'05"	1	0.11	1	22	○ C-3
	大阪湾(2)	B-4	北緯34°31'48" 東経135°21'08"	1	0.10	1	17	○ B-4
	大阪湾(3)	A-3	北緯34°26'00" 東経135°17'14"	1	0.076	1	12	○ A-3
	大阪湾(4)	A-7	北緯34°22'36" 東経135°12'50"	1	0.063	1	14	○ A-7
	大阪湾(5)	A-11	北緯34°20'30" 東経135°06'38"	1	0.035	1	1.2	○ A-11
大阪市	大阪湾(1)	O-1	No.5パイ跡	1	0.11	1	15	○ O-1
	大阪湾(1)	O-2	南港	1	0.14	1	22	○ O-2
	大阪湾(1)	O-3	大阪港関門外	1	0.087	1	18	○ O-3
	大阪湾(1)	O-4	神崎川河口中央	2	0.48	1	84	○ O-4
	大阪湾(1)	O-5	淀川河口中央	1	0.12	1	5.8	○ O-5
	大阪湾(1)	O-6	木津川河口中央	1	0.17	1	68	○ O-6
堺市	大阪湾(1)	S-1	堺第7-3区沖	1	0.028	1	18	○ S-1
平均値					0.13		25	

表6 平成18年度ダイオキシン類常時監視結果（地下水質：環境基準 年間平均値 1pg-TEQ/L 以下）

調査主体	所在地	測定値(pg-TEQ/L)	図10 地点番号
大阪府	能勢町山田	0.089	1
	豊能町木代	0.092	2
	茨木市佐保	0.16	3
	島本町広瀬	0.076	4
	豊中市長興寺北	0.097	5
	池田市神田	0.085	6
	寝屋川市点野	0.098	7
	大東市野崎	0.48	8
	門真市大字打越	0.065	9
	藤井寺市市岡	0.17	10
	大阪狭山市今熊	0.073	11
	柏原市本郷	0.099	12
	太子町春日	0.095	13
	千早赤阪村大字水分	0.12	14
	高石市千代田	0.086	15
	岸和田市稲葉町	0.10	16
	熊取町朝代西	0.15	17
	忠岡町高月南	0.15	18
	田尻町大字嘉祥寺	0.15	19
	岬町多奈川谷川	0.092	20
枚方市	枚方市茄子作北町	0.065	21
八尾市	八尾市安中町	0.062	22
	八尾市東本町	0.067	23
大阪市	港区海岸通	0.058	24
	北区大淀中	0.053	25
堺市	中区上之	0.026	26
	南区檜尾	0.024	27
	美原区菅生	0.031	28
高槻市	高槻市唐崎西	0.066	29
平均値		0.10	

(注) 年間測定回数は1回である。

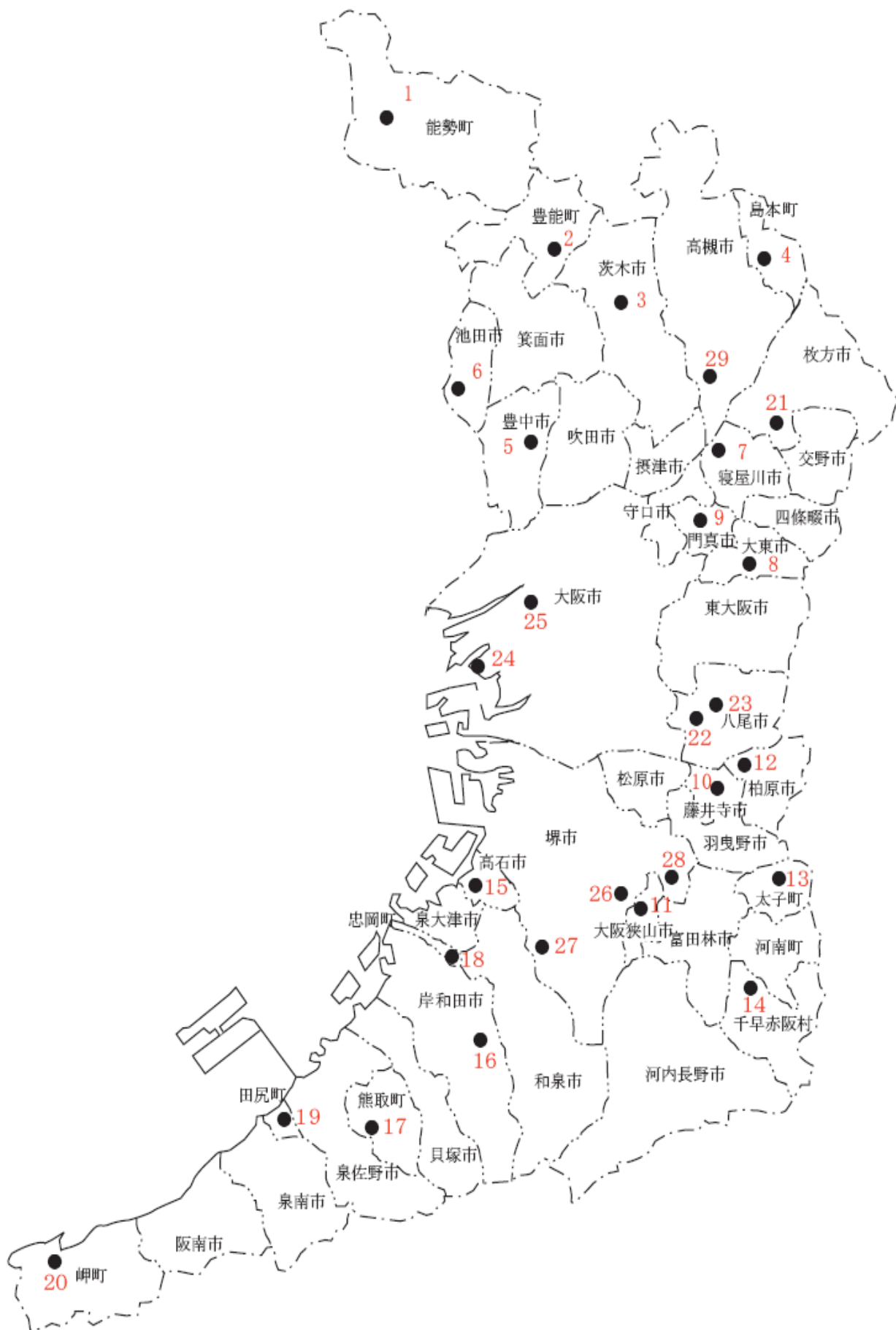


図10 平成18年度地下水質常時監視地点図

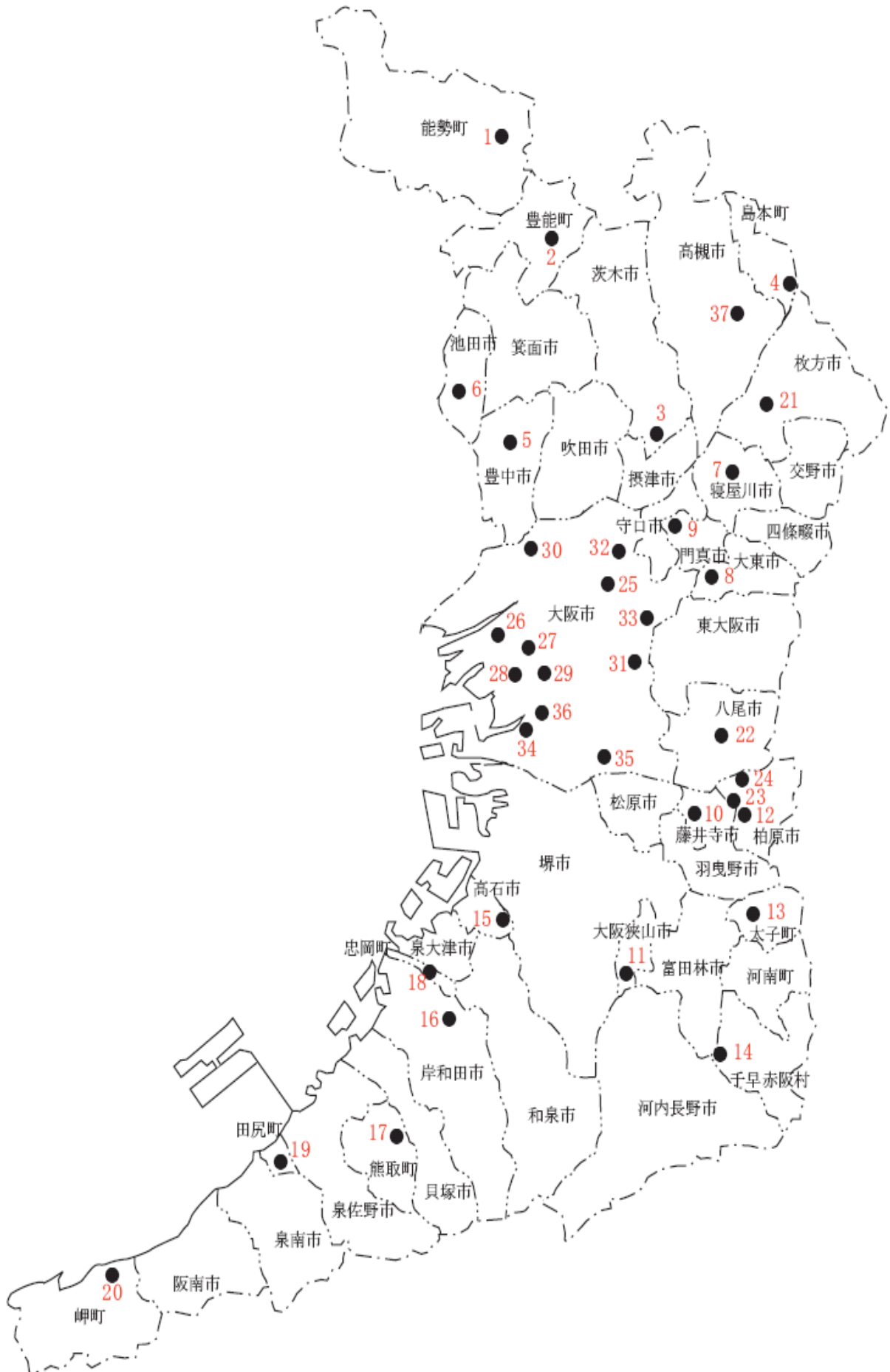


図 1 1 平成 18 年度土壤常時監視地点図

表7 平成18年度ダイオキシン類常時監視結果（土壌一般環境把握調査）  
（環境基準 1,000pg-TEQ/g）

調査主体	測定地点		測定値 (pg-TEQ/g)	図11 地点番号
	所在地	地点名		
大阪府	能勢町倉垣	能勢町立歌垣小学校	0.25	1
	豊能町希望ヶ丘	希望ヶ丘中央公園	0.40	2
	茨木市真砂	若園公園	0.24	3
	島本町広瀬	広瀬公園	0.95	4
	豊中市南桜塚	皿池公園	6.0	5
	池田市上池田	辻ヶ池公園	3.2	6
	寝屋川市初町	初本町公園	3.1	7
	大東市新田中町	新田中央公園	14	8
	門真市堂山町	茨田公園	0.064	9
	藤井寺市北岡	北岡児童遊園	10	10
	大阪狭山市大野台	東大池公園	1.3	11
	柏原市玉手町	柏原市立円明保育所	6.1	12
	太子町春日	太子町立中学校	0.29	13
	千早赤阪村大字小吹	小吹68番地の908公園	16	14
	高石市取石	取石公園	1.4	15
	岸和田市大町	八木運動広場	4.9	16
	熊取町希望ヶ丘	熊取町立熊取北小学校	0.074	17
	忠岡町忠岡東	大津川河川公園	0.13	18
	田尻町大字吉見	田尻町立小学校	0.56	19
	岬町淡輪	岬町立淡輪小学校	0.031	20
枚方市	枚方市中宮山戸町	枚方市立中宮小学校	1.6	21
八尾市	八尾市高美町	八尾市立高美南小学校	0.091	22
柏原市	柏原市大正	柏原市立柏原西保育所	10	23
	柏原市法善寺	柏原市立法善寺保育所	5.1	24
大阪市	都島区	都島公園	3.2	25
	此花区	四貫島小学校	0.58	26
	西区	堀江中学校	0.22	27
	大正区	大正東中学校	0.12	28
	浪速区	元町中公園	2.9	29
	淀川区	北中島公園	5.1	30
	東成区	東陽中学校	0.77	31
	旭区	大宮西小学校	0.24	32
	鶴見区	今津中学校	0.11	33
	住之江区	北加賀屋公園	1.1	34
	東住吉区	枯木町公園	6.1	35
	西成区	南津守中央公園	0.78	36
高槻市	高槻市別所本町	奥坂小学校	0	37
平均値			2.9	

(注)年間測定回数は1回である。

## 2 追跡調査結果

### (1) 神崎川水域における汚染範囲特定等調査結果

常時監視地点である神崎川「新三国橋」においては、平成 12 年度以降、水質の環境基準値を上回っている。本水域においては平成 13 年度から原因究明のための追跡調査を実施してきたところ、神崎川水域・番田水路上流の三箇牧水路に高濃度の底質が存在することが判明し、これが三箇牧水路の水質濃度が高くなっている原因であるとともに、番田水路の水質にも影響していることが考えられた。

そこで、高濃度に汚染された底質の汚染状況を詳細に調査するため三箇牧水路において底質中のダイオキシン類の測定を行い、汚染範囲の把握を行ったところ、表 8 のとおりであり、地点 3 からその下流の 13 箇所で環境基準値を超過した。(平成 18 年 9 月 20 日公表済)

表 8 三箇牧水路底質ダイオキシン類測定結果 (平成 18 年 6 月 29 日)

(単位: pg-TEQ/g)

地点	左岸 (L)	流心 (M)	右岸 (R)
1	68	53	—
2	—	100	—
3	—	460	400
4	—	20,000	22,000
5	—	44,000	11,000
6	—	15,000	5,000
7	9,600	11,000	—
8	—	19,000	—
9	—	4,800	—
10	—	1,800	—

大阪府は、この調査結果を踏まえ、図 12 に示す鳥飼北部排水機場より上流の高濃度区間について、平成 18 年度中に底質除去工事を実施した。

今後は、対策効果の確認のため水質および底質のモニタリングを行うとともに、汚染の再発防止のため引き続き周辺事業所の監視指導を実施する。また、鳥飼北部排水機場より下流区間についても汚染範囲の把握調査を行う。

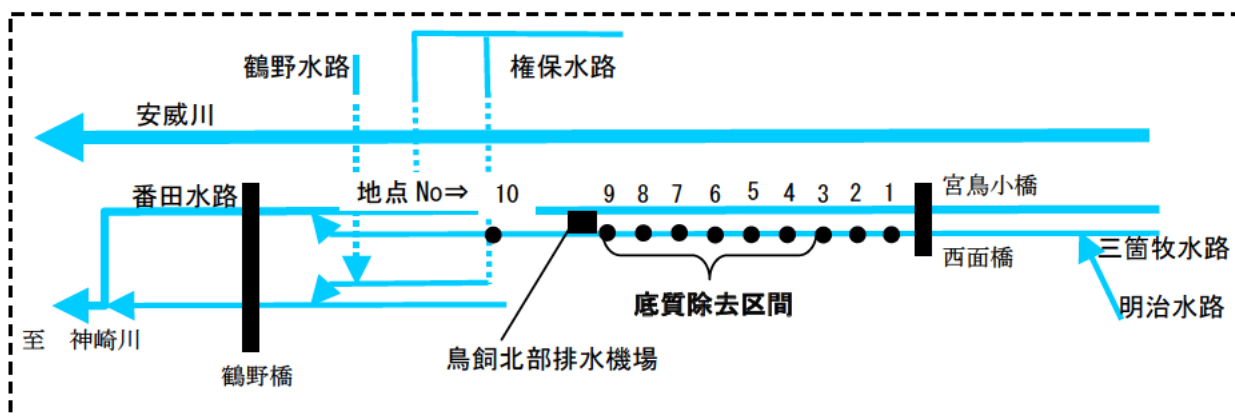


図 12 三箇牧水路底質除去区間



## (2) 常時監視地点の濃度変動調査結果（季節変動調査）

平成 17 年度追跡調査（汚染範囲特定等調査：恩智川、玉串川、天野川）において、調査の発端となった常時監視地点及び過去に環境基準値を超過しその後改善が見られなかった常時監視地点について、平成 18 年度は、年間 2 回の常時監視調査に加え春季および冬季に調査を行い、季節変動調査等を行った。

調査地点及び季節変動調査結果は表 9 のとおりであった。

表 9 季節変動調査結果

河川名	調査地点	ダイオキシン類水質濃度 (pg-TEQ/L)					備考
		春	夏	秋	冬	平均	
天野川	淀川合流直前	0.64	0.99	0.25	0.35	0.56	
神崎川	新三国橋	2.0	4.5	1.9	3.4	3.0	
安威川	新京阪橋	1.1	1.6	0.96	1.3	1.2	
寝屋川	住道大橋	0.87	1.7	0.55	0.52	0.91	
恩智川	福栄橋下流 100m	—	1.7	1.5	0.28	1.2	春季:工事中
恩智川	住道新橋	3.0	1.2	0.48	1.2	1.5	
玉串川	JA グリーン大阪前	1.8	1.7	0.84	0.63	1.2	
津田川	昭代橋	1.4	0.90	1.4	0.35	1.0	
樫井川	樫井川橋	1.2	0.30	0.89	0.56	0.74	

「恩智川 住道新橋」においては、各季節の測定値の変動が比較的大きく、春季に 3.0pg-TEQ/L という値を示した。また上流での工事の影響も否定できないことから、今後も引き続き年 4 回の季節変動調査を継続する。

その他の調査地点においては、常時監視調査（夏秋の平均）での結果と今回行った季節変動調査結果（春夏秋冬の平均）には大きな違いがなく、環境基準の達成状況の把握において常時監視調査（年間 2 回）での調査で特に問題ないことがわかった。今後は年間 2 回の常時監視調査を継続し水質濃度を把握するものとする。